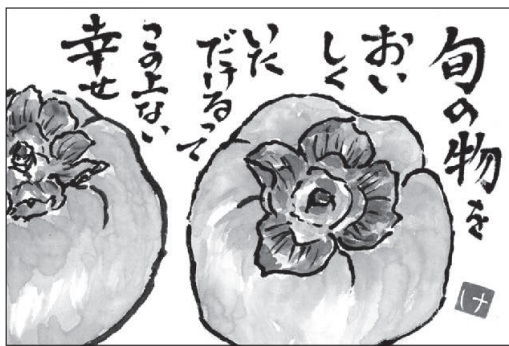


ストレス解消

大阪・富田林市

馬場美代子 (74)

私の家事の楽しみは、連れ合いが菜園で作ったどんな野菜も、必ず調理して食卓に並べること。水不足か、先が硬くな



広島市 若山恵子 (74)

炊くと、一級のおかず。何一つ捨てずに、調理して食卓に出し、「おいしい」と言ってもらうことは、私のストレス解消にもなっています。

転居先でも

愛知・清須市

伊藤さち子 (75)

名古屋で53年間勤務し、仲間と楽しいことをいっぱいやってきたHさんが、故郷の大牟田に帰り、2年ぶりに里帰り

読者がつくるページ

(?) してきました。

2年前、別れるときは寂しかったけど、こちらの心配はよそに、新婦人

迎され、うれしく楽しかった。同窓会のグループLINE(〇〇学校美女軍団)に登録して、帰りは新幹線の中で、出席できなかった同窓生とも会うことができた。

神戸市

入江仁子

こちら、小組交流会

50年ぶりに

鹿児島市

大塚悦子 (72)

50年前に卒業した専門学校

私は30年以上フラダンスをしています。昨年、夫を亡くしました。お盆には私が感じられる方法で帰ってきてほしいと切望していました。

美しいメロデー

名古屋市 芋けんび (65)

すが、心穏やかにさせて

人生の応援歌

京都市 岡本ゆかり (66)

私の人生への応援歌は

中島みゆきさんの曲で

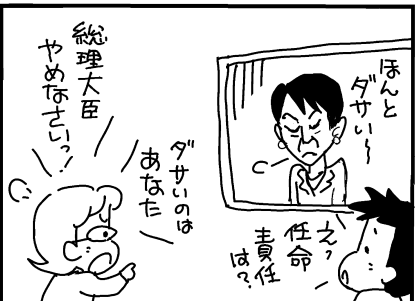
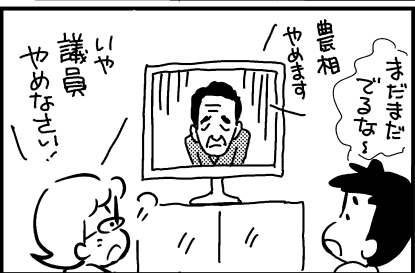
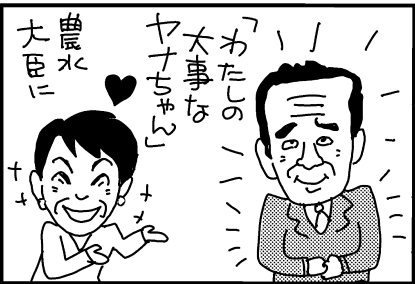
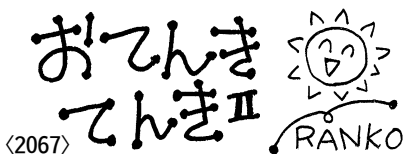
音「俱に」二期一会

テーマ 今、聴きたい音楽

くれて、人にも優しく接することができるようになり、気がします。

今、デモに行くときは「ファイト!」。人とながりたいときは「糸」

の「いのちの理由」です。最近はまだまきさんのうなずきながら聴いている間に、いやされていることに気づきます。



読者文芸

あなたも短歌

下村すみよ 選

宿題は憲法前文暗誦なりき中三吾らに柿本先生
《評》日本国憲法前文が大好きな様子。きつとスラスラ言えるでしょう。宿題のおかげと先生に感謝。結句の固有名称が輝いています。
弟の葬儀の席で「帰ってこい」認知症の夫が大
声で呼ぶ
《評》大切な弟さんがいなくなったことは分かるのでしよう。痛切な呼び声が胸に響きます。
デニーさん負けてくやしい我らもだでも「あきらめない」が沖繩の心 若手県 柳沼 帝子
《評》この一首から「がんばろう」の歌の「闘いはこれから闘いは今から」が浮かびました。
ターンする度にクックと舌あびて後期高齢者が
扇風機
《評》扇風機に舌を重ねての描写がユーモラス。「クック」とにリアリティがあります。

《作品募集》ハガキなどで編集部「あなたも短歌」係まで。作品は未発表のものに限ります。

油断して転び膝打ち色とれず回復遅いこれが老いかと
《評》打ち身の「色とれず」に実感がこもります。長引いた入院先の看護師さんとうっかり仲良し会話がはずむ
《評》優しくまことに白衣の天使ですね。
帰り道出会った知人と立ち話今日初めてののしやべり楽し
《評》「今日初めての」に説得力があります。夏休み終わった後の食卓は半分空いてひっそりしてる
《評》休み中の賑やかな食事風景も浮かびます。雨上がり優しき友に誘われて地域の会に夫は出でゆく
ああでもないこうでもないと推敲す八十路の短歌道はけは居れず
京都府 原木とし子
兵庫県 西田 英子

川柳

・バトン継ぐ高校生の「原爆の絵」
大阪・豊中市 則清礼子 (83)
・歩き方忘れたみたい長雨で
埼玉・所沢市 雪だるま (77)

ました。うれしいお盆で咲きました。ハイビスカスは「1日花」で朝咲き、夕にはしぼみます。その日、2つは夕方しぼみましたが、1つだけ夜になっても咲いていました。朝になっても、昨日の花がまだ咲いていました。私はすぐ感じとりました。「あつ、この花お父さんなんだ。お盆に帰ってきてくれたんだ!」。

京都府

長谷川公子 (75)

先日、「ピースライブ」でプログラムと一緒にボールペンの親方のような棒を渡されました。「えっ! これって噂のペンライト?」「そうやね。私も初めて」。早速、ス

ゆれて美しいこと。そして幕は降り、消し方が分からない人がアチコチに。「何回も押したら消えるから」とベテラン顔で指導(?)したり。今もバッグに入れて見せびらかしています。元気をもらって
青森・八戸市
新岡百合

私の所属する新婦人の班では高齢化が進んでいるかな?。それでも、班会や小組で集まったときはみんなでおしゃべりし、笑いあ

原稿募集

☆テーマ：今、聴きたい音楽／家事、手抜きのスヌメ／秋の夜長のたのしみ
投稿や作品をお待ちしています。また、紙面への要望・意見などお寄せください。投稿は300字前後、短くする場合もあります。住所・氏名・年齢・電話番号を、匿名希望の方はペンネームを書いてください。掲載した絵手紙は新婦人のSNSに転載する場合があります。あて先 〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-20 新婦人しんぶん編集部 ファクス03-5805-2372 Eメール s-press@shinfujin.gr.jp